2018年8･9月

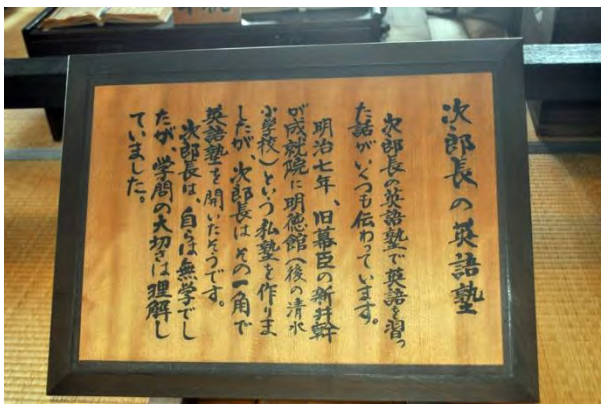
NPO法人　学習塾全国連合協議会　東日本ブロック　NPO 塾全協

塾全協東通信

題字：伶齋（白川亮　進ゼミ柏）

《日本で最初の英語塾》（文と写真：中村基和）

去年の夏、静岡―清水に小旅行に行きました。清水といえば漁港そして次郎長です。次郎長というと任侠ものの映画をすぐ思いついてしまいますが、なんと日本で最初に英語塾を作ったのは彼なのです。清水には次郎長関係の記念館・博物館館が２つありますが、そのうちの１つの「清水港船宿記念館」（実質的に次郎長記念館）の２階に当時の英語塾の授業風景を模した実物大の人形がありました。「これからの若者は英語を学ぶことが大切だ」と、先見の目がある人だったのですね。ネットで検索してみたところ、「幕臣の私塾の一室を使い、近所の若者を集め、静岡学問所の若手英語教師を招いて英語塾を開設した。 塾生の中には、ハワイへ密航し、現地で成功を収めたものもいた」そうです。



駒込学園にて　理事会→入試説明会

日時：2018 年（平成 30 年）7 月 11 日（水）　AM 10:30～PM2:00
場所：駒込学園（東京都文京区千駄木）
文と写真：中村基和

学校をお借りしての理事会は久しぶりでした。(かなり前に新宿区の目白学園や保善高校でさせて頂いたことがありました。)

理事会は 10:30～12:00 で、そのあと駒込学園の入試説明会となりました。

まずは学校長の河合孝允先生の挨拶。「学校改革は進学校ほど遅い。それは東大、早慶に入れるためのスキルを失いたくないからだ。駒込学園は能動的学習法を進めたい。たとえば国語の問題はアンダーラインをなくし、課題を発見し、考えていく入試にしたい。優等生でなく有能生を集めたい。都立の下請けをする学校にするつもりはない。それで潰れるならそれで良い。」と改革を推し進める意欲を感じるお話でした。

次に中学教頭の本田先生より授業と入試の説明がありました。中学高校とも ICT 教育を採用しています。これは電子黒板やタブレットを導入したビジュアルイメージを多角利用して、わかりやすく記憶に残る授業を目指しています。天台宗の学校なので読経と朝礼、食前、食後の合掌を実施しています。入試ですが、中学は通常の 2 科・4 科の他、国算英（英語は準 2 級以上は試験免除）の 3 科、適性検査型、そして特色入試（STEM 入試）と自己表現入試を新しく実施することになりました。今回はこの STEM 入試の紹介が主目的でした。これはプログラミング入試です。プログラミングといっても Basic や C++などの言語を使うものではなく、Scratch というソフトを使ったビジュアル系のプログラミングです。入試担当の先生から説明がありましたが、入試以前に学校でこの Scratch の使い方の講習を受けてもらえれば使い方はすぐ分かるそうです。また自己表現入試ですが、キーワードは「自分の意見や考えをきちんと相手に伝えること」でクリエイティブ型（プレゼンテーション）とディベイト型があります。図書館を全員に開放し、資料のコピーも出来ます。

Scratch とは（NHK for school より）

アメリカのマサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボのライフロング・キンダーガーテンというグループが作った、小学生でもかん単にプログラミングができるソフト。ウェブで自由に使うことができて、自分だけのゲームやアニメーションをだれでも作ることができるんだ！作った作品はほかの人に公開することができる。また、ほかの人が作ったゲームを見たり、

最後は NPO 塾全協メンバーと駒込学園の先生方との昼食会。先生方の紹介を含めて色々面白い話を聞くことが出来ました。

最近の中学入試は英語入試や適性検査型がどんどん増えてきましたが、ついにプログラミング入試が登場しました。今後どうなるかは分かりませんが、塾としても対応を考えていた方が良いかも知れませんね。（批判も当然あるでしょうが）

「私立中学受験紹介制度」について

東日本ブロック事務局長　中山和行

公文教室のお便りに
「私立中学受験紹介制度」（進学のひろば）
について案内がありました。
６年生の１０月時点で
公文の算数・国語とも G 教材以上（学校により多少基準は違う）が対象。中堅の私立中学を中心に対象校は年々増えてきており２０１８年３月時点で
大阪府３２校、兵庫県１５校あるそうです。
（例：関西大倉、近大附属、報徳、甲南、武庫川女子、松陰など）
公文生であれば誰でも登録でき登録したからといって受験は必須ではなく
４月１日より登録生は会員専用サイトでいつでも最新情報を閲覧できるようです。
ちなみに合格率は
２０１８年度入試 合格率９９％
２０１７年度入試 合格率９９％
２０１６年度入試 合格率１００％
２０１５年度入試 合格率９８％　だそうです。

上記のような文章が受験生の保護者のブログに載っていました。この保護者様は関西の方ですが、関東でも同じような紹介制度があるようです。恥ずかしながら、今までこのような制度があるとは知らなかったです。
早速、埼玉の私立の募集担当の先生にいろいろ尋ねたところ、埼玉のある程度の上位校も対象校になっているとのことでした。都内の難関私立は別でしょうが埼玉のそこそこの私立に進学を希望しているのであれば一つの作戦として使えそうです。小学５年生ぐらいからほとんどの日常生活を犠牲にして週３日あるいは週４日お弁当もちで塾通いすることを考えたらずっとよいと正直思います。
私立中学の方でもさまざまな入試制度を取り入れています。例えば英語入試・プログラミング入試や

プレゼンテーション入試などです。特色ある入試である分野でとんがった能力をもつ生徒を受け入れるようになっています。

昔のように四谷大塚の日曜テストで正会員は成績で会場が決められる（トップは中野会場・次に御茶ノ水会場など）時代から中学受験もだいぶ変わってきました。

《実践学園に個人的に招待されて見学に行ってきました》

日時：2018 年（平成 30 年）7 月 17 日（火）11:00～13:00
場所：実践学園中学高等学校（東京都中野区中央）
レポーター:中村基和

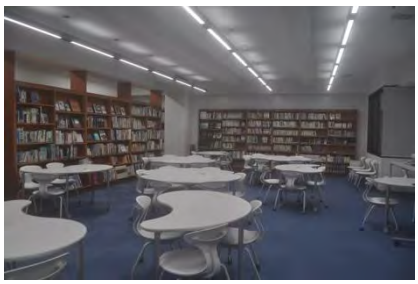
新宿駅から約 1 km、東京メトロと都営大江戸線が交差する中野坂上には 2 つの私立学校があり、その一つが今回お呼ばれした実践学園です。新宿から最も近いところにある学校の一つなので、NS ビルで催される NPO 塾全協の進学相談会の常連校で、最近は担当の先生が「パンフレットがなくなっちゃいましたよ」と嬉しい悲鳴を上げている学校の一つです。今年の 4 月に塾周りをしている募集担当の先生が私の塾に来られ、この地域では最も長い期間（37 年）やっている塾の一つで、実践学園にも特に中学受験でよく入れているということで、見学と食事にご招待頂きました。学校説明会での懇親会などはかつてはよく行きましたが、このように一人で招待されるというのは初めての経験でした。

まずは見学。何回も見学していますが、私が一番気に入っているのが屋上に設置された「実践の森」。小川が流れていたり、稲を植えたりしています。

実践学園が最近導入、建造したのが電子黒板と自由学習館です。電子黒板は私の知っている限り最も早い時期に導入されました。自由学習館は自習のための施設で、日曜日までも使え、管理は OB、OG の学生がしています。

実践学園は元々スポーツの盛んな学校で、最近特に有名なのはサッカーですが、女子バスケット、バレー、男女卓球なども全国レベルです。

一般の塾の先生向け学校説明会とは違い今回は見学した後、校長先生や理事長先生ら学校幹部の方々と昼食をとりながらの「世間話」でした。私は自分自身近所で育ったのでこの学校のことは良く知っています。かつては商業高校で、ハッキリ言ってワルの低レベル校でした。先生方も良くご承知で、「〇〇先生が竹刀を持ってよく生徒を追っかけていた」とのことです。進学は G-MARCH レベルに年に 1 人スポーツ推薦で入る程度だったそうです。ところが今年度の大学進学実績、右の写真をご覧ください。　今から 15、6 年前、7 年間私の塾に通っていた実践学園の生徒が、この学校で初めて上智大学に一般受験で合格しましたが、今は早稲田だけでも 11 名合格しています。数年前は東大合格者も出ています。これは長期計画で徐々に進学校としての実績を上げて行こうとしている実践学園の努力の結果だと思います。



NPO 塾全協東日本ブロック　今後の主な予定(2018 年度)

今後の主なイベント

9月17日（月祝）東京　進学相談会
9月24日（月祝）千葉　進学相談会
9月30日（日）　埼玉　進学相談会
11月4日（日）　東京　全国研修大会

編集 NPO塾全協東日本ブロック 事務局長　中山和行
〒350-0322埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地
TEL 049-296-1111　FAX　049-296-1111　　E-mail　gyqbt650@ybb.ne.jp
NPO塾全協東日本ブロックHP　http://www.jzk-east.com